

平成27年度法人事業計画

社会福祉法人 幸輝会

・ 法人の使命

人間尊重の基本理念の下、地域社会に根ざした福祉活動を通じて関係性の維持、再構築を図り、地域の基幹的支援施設としての役割を果たします。

・ 現段階の総括と課題、問題点

社会福祉法人は、長年にわたり制度や市場原理だけでは解決することのできない様々な生活課題、福祉ニーズに先駆的・開拓的に対応し、他の経営主体とは異なる役割を果たしてきました。社会生活上の困難を有する人が増加傾向にある中、こうした人々に対する支援や制度の狭間にある課題に対して継続的かつ安定的な福祉サービスの提供等、地域の状況に即した活動に今後も積極的に取り組んでいく必要があります。

幸輝会は今後も高い公益性と継続性をもって、社会福祉の主たる担い手として地域の課題・ニーズに応えていくことによって、地域の人々からの信頼と支持を得ていかなければならない。

・ 今年度法人の基本方針

社会福祉法人本来の使命を再認識し、質の高いサービス提供で地域社会から信頼される事業体を目指す！

・ 今年度法人の全体目標

「社会の負託に応えうる法人経営を進めます」

・ 具体的数値目標（事業所単位）

- ◇ 経常収支差額比率： 5 ± 1.0%（国府市場、美作）、4 ± 1.0%（乙多見）
- ◇ 事業活動人件費率： 61 ± 1.0%
- ◇ 事業活動経費率： 31 ± 1.0%

・ 具体的行動目標

- 法人のガバナンス強化
- コンプライアンスの徹底
- 情報開示と説明責任の徹底
- 人材マネジメント（人財の確保と育成、定着化）
- 地域社会との連携強化
- ワークライフバランスの推進
- 財務基盤の安定強化

平成27年度事業計画

特別養護老人ホーム 幸輝園「介護老人福祉施設」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 医療と介護の狭間で苦しんでいる方々もおられ、相談援助件数も増加している。各方面との連携を深めながら、迅速な入所案内が求められている。利用者の重度化傾向はさらに進み、現場の負担も増大しているが、より高度な技術と対応が求められている。平均在籍期間が益々短くなり、本人・家族との信頼関係をより短期間に築いていく必要もある。人生の最期がどうあるべきかを寄り添いながら共に考え、最期の時を平穏に迎えていただけるよう、全職種が協働で支援していく必要がある。
- ・ 短期入所利用者においても重度化傾向が見られ、本人家族のニーズも多様化する中で、従来のレスパイトだけでなく機能訓練や体調管理、看取りに近い状態まで期待されている内容は多岐にわたる。そんな中、家族と情報を共有しながら共通認識のもと一人一人の状態に合わせたサービス提供を行っていく必要がある。
- ・ 特養には地域福祉の中心としての役割が期待されており、地域社会のあらゆる福祉ニーズに応えていかななくてはならない。職員一人一人がその自覚を持って、業務にあたっていく必要がある。サービスの質の向上は勿論、事故防止・環境整備・防災危機管理や食の向上等あらゆるテーマに全職員が一丸となって取り組んでいかななくてはならない。

《サービス基本方針》

- ・ 地域のセーフティーネットとしての役割を果たすべく、地域の高齢者が抱える諸課題を解決していける様、他機関とも連携を図りながら中心的に対応していく。
- ・ 多様で幅広い個々の利用者ニーズを尊重し、人生の最終ステージを安心して過ごしていただけるよう、各職種が協働で支援する。
- ・ 新たな食事献立を開発し、目で見え、進化する食事の提供を行います。
- ・ 研修機会を通して職員全体のスキルアップを図り、専門職としての自信と誇りを持って業務に当たれるよう常に資質向上に努める。

《行動目標》

『地域との信頼関係を確立し、地域福祉の拠点としての地位を目指します！』

《数値目標》

- ・ 長期平均稼働率 98%
- ・ 短期平均稼働率 75%

平成27年度事業計画

高島デイサービスセンター「通所介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 今回の報酬改定では中重度者及び認知症対応への方向性が加算の形で新たに示された。通所介護事業所が介護度、認知症自立度のより重度な方を受け入れていくためには、ケアマネージャーや他の介護サービスとの連携が必須となる。家族とのコミュニケーションも密にし、利用者の生活全般を支援していく体制の一翼を担っているという職員の意識改革が必要である。
- ・ 利用者の重度化傾向もあって、より高度な介護技術や医療知識等を求められる場面もあり、職員の研修機会や資質向上が重要である。
- ・ 新規の利用も入ってきているものの、それ以上に長期入院・他施設入所・他界される方が多く、安定した利用者確保が下半期から厳しい状況になっている。現在利用中の方々の満足度をさらに向上していくことで、新たな利用者獲得に結び付けていきたい。

《サービス基本方針》

- ・ 利用者一人一人のニーズをしっかりと受け止め、利用することで得られる効果を実感して頂けるよう、各種プログラムの開発を行う。
- ・ 利用中の活動量を増やして、血液の循環を良くし、体幹を鍛えるからだ作りや細かな体調把握などを行っていく。
- ・ 楽しく目標を持ってリハビリを頑張ってもらえるよう、歩数計を使って巡る地図の作成を行う。
- ・ 口腔ケアでは、嚥下状態を良くし、食事をおいしく召し上がっていただくだけでなく、笑顔が増えていくように継続支援していく。
- ・ 認知症の方には、現実の何気ない情報を提供し繰り返し確認していくことで、認知症の見当識障害の進行防止と改善を目指していきます。

《行動目標》

『人との交流の中で、自分の役割・生きがいが見つかるデイサービス』

《数値目標》

- ・ 介護保険事業収益 月490万以上

平成27年度事業計画

幸輝園ヘルパーステーション「訪問介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 出来る限り住み慣れた自宅での暮らしが維持継続していける様、高齢者の思いに寄り添い、在宅高齢者の生活全般を支援し多様化するニーズにも対応していくことが使命であり、職員の介護技術や専門知識の向上を図っていく必要がある。
- ・ ご利用者がその人らしい生活を維持していける様、その方のニーズをしっかりと共有し、介護のプロとしての関わりを行っていく。
- ・ 提供者のサービス水準に統一性がないと、利用者の混乱にもつながるので、利用者個々のケアプランを全職員が十分理解し、情報の共有化を図るためにも報告・連絡・相談を徹底していく必要がある。
- ・ 情報提供を密に行い、本人はもとよりご家族やケアマネからも信頼される事業所を目指していく。

《サービス基本方針》

- ・ ご利用者の在宅生活全般を支援していく観点から、ケアマネ等の関係機関とも連携を図り、ご家族との連絡体制も充実させる。
- ・ 報連相を徹底し職員間のチームワークを重視して、技術や知識のレベルアップを図り、質の高いサービス提供を行う。

《行動目標》

『住み慣れた在宅での生活を継続していただける様、

心のこもったサービスで支援します！』

《数値目標》

月延べ提供時間 240時間以上

平成27年度事業計画

特別養護老人ホーム みまさか園

・ 現段階の総括と課題、問題点

昨年は心も体も元気になれるケアを提供し生き生きと暮らして頂く事をサービス方針として取り組んで来ました。しかし、利用者も年々高齢となり重度化傾向が強くなっています。その為、医療が欠かせず入退院を繰り返している方も少なくありません。従来特養は終の棲家と言われていますが、多くの疾病を持っている利用者には、何歳になっても医療が切り離せない看取りに移行出来にくい現状があります。それを変えるには、看取りに対する施設としての方針と嘱託医、看護師、介護職、栄養士の看取りの考え方を再認識して、利用者家族の真の気持ちに沿った看取りケアを行いたいと考えます。そして、残された人生を当施設で希望を持って過ごして頂く為にも、利用者家族と企画行事やカンファレンスを通じて意向確認を行いながら残存機能を維持出来る環境と食事、ケアを提供したいと思います。ショートにおいても利用者家族の意向を確認しながら、メリハリのある生活を送って頂き現状の維持、介護予防になるケアを行います。

そして、より安定したケアを行うには職員の人材確保と育成、働きやすい環境を作りを行い職員のモチベーションを維持して行く必要があります。

近年異常気象が多く聞かれ南海トラフ地震も近い将来起きると言われる中、地域の災害時に備え受け入れ態勢を整え、要望に応えられる施設として確立しておかなければならないと思います。

・ サービス基本方針

「残された人生に寄り添えるケアを行います。」

・ 具体的行動目標

- ① 生活リハビリを中心に残存機能を維持出来る環境や食事、ケアを提供
- ② 季節感を感じてもらえる企画、レクリエーション、アクティビティ、の充実を図る
- ③ 看取りの方針の再認識と真の看取りケアの実施
- ④ 職員の人材確保と育成、モチベーションのアップ
- ⑤ 災害時の受け入れ態勢の整備

・ 具体的数値目標

- ・ 長期入所利用率 96%
- ・ 短期入所利用率 80%

平成27年度事業計画

事業所名称 みまさかデイサービスセンター

《現状の総括及び課題と問題点》

平成26年度は体調不良により数名の入院者が相次ぎ、稼働率に影響があったが、新規開設施設に左右されることなく安定出来た。

「身体状況や体調が以前より悪い状態になっても今まで通り利用できるなら」と希望が有り、退院後はより充実したケアでご家族の負担軽減やご利用者の状態に合わせた援助ができ、小規模ならではのメリットを活かすことが出来た。

今年度、介護報酬の改定により一般型通所介護は単価も下がり、中重度の方へのサービスが見直され新規利用者獲得が更に難しくなることが予想される。

看護職の関与を含めスタッフ全体の専門性のスキルアップや連携を図り、認知症の中でも身体的重度者を積極的に受け入れ、小規模ならではの行き届いたケアやサービスが提供します。

《サービス基本方針》

- ・ 相談員・看護職・介護職のチームケアを実践します
- ・ ご家族や取り巻く環境に応じて自宅での生活が維持していけるよう、思いやりと心からのおもてなしの精神で評価の出来るサービスを提供、在宅サービスの役割を果たします
- ・ 専門職として、ご家族が気持ちよく過ごせ、ご家族の負担軽減に繋がる提案やアドバイスをを行い家族と共に在宅生活を支えます

《行動目標》

「自分の行ったケアに対しての評価を行い向上心を持って取り組みます」

- ・ 各専門職が各々の仕事・役割を理解し確立、自らの仕事をすすんで実践します
- ・ 通所介護計画に挙げられているケア、その他の気づきからの取組みなど生活記録表に自ら実践したケアに対してのコメントを必ず記録、振り返りとします
- ・ 報告・連絡・相談を密に行いながら期間内に評価を行います

《数値目標》

- ・ 利用率60%確保

〈各専門職の役割〉

平成27年度事業計画

ケアハウスさいわい「軽費老人ホーム」

《現状の総括及び課題と問題点》

利用者の不安を解消するため、今年度のさいわいの基本方針である「笑顔で安心して生き生きと暮らせる生活を形成する」を実行するため、各行事の度に家族へのこえ掛けや多職種の協力を得ながら楽しみを提供し、意欲の向上を行ってまいりました。入居者の身体機能の低下を防ぐため、毎日リハビリ体操を続け、自立支援も促してまいりました。そしてゆとりを持ったコミュニケーションを大切にすることで、個々に興味のあることを聞き取ることができ、準備設置し環境を整えることができました。その結果、自らが自己選択できるということで居室に閉じこもりがちであった入居者がホールに出てこられる機会が増え、ケアハウスさいわいに活気が見られるようになりました。しかし反面、高齢の方、身心機能低下のかたも多く、今後も緊急時の対応を行っていくと共に、ケアハウスで住みにくくなった方への家族への相談援助と適切な施設への住み替えなどの支援を行うなどして、入居者の安定を図っていきたいと思います。

《サービス基本方針》

『笑顔で安心して生き生きと暮せる生活を送ろう』

《行動目標》

- ・ 体調不良時や、身体・精神面の変化への迅速な対応。
- ・ 心身機能の維持と生活意欲の向上のため、自立に向けたプログラムを提案し自ら選んでいただき、やる気を引き出す。
- ・ 出来る事は、できるだけ自分で行っていただく。
- ・ 本来の対象者確保のため、地域との交流を積極的に行う。
- ・ 買い物・季節の行事を通じて楽しみを提案します。

平成27年度事業計画

事業所名称 ゆうゆうの里デイサービスセンター

《現状の総括及び課題と問題点》

昨年度、基本方針の中心として挙げていた「自立に向けたサービス提供」、バイキングの実施とプログラム導入については利用者にも慣れていただき、自発的に動かれる姿を見ることが増えました。利用者の方々にも「自分でできることは自分でする」という意識を持っていただくことが出来ました。

個別に特化した機能訓練の実施は看護師の人的問題があり、実施することができなかった。美作市内に新規事業所が増え、他の事業所は利用者数を確保する事が困難な中、当事業所は一定の利用率が確保できたことは事業所としての自信に繋がった。

27年度は昨年から実施してきた「自立に向けたサービス提供」を継続しながら、中重度者、認知症の利用者へのサービスの質向上について取り組みます。地域の方から、安心して任せて頂ける、選んでいただける事業所を目指します。

《サービス基本方針》

- ・ 自立に向けたサービス提供を継続しながら、認知症・中重度など様々なニーズに対応でき、地域から信頼、頼りにされるサービスを提供します

《行動目標》

- ・ 自立に向けたサービス提供を継続し、残存機能を十分に生かせるサービス提供を行います
- ・ 中重度、認知症など様々なニーズに対応できるよう、事業所内研修を開催し、職員個々の資質向上とサービスの均一化を徹底します。
- ・ 年間を通じて利用者が望む、目的・意義のある外出企画の計画と実施を行います。

《数値目標》

- ・ 利用率 85%確保

平成27年度事業計画

ゆうゆうの里ヘルパーセンター

《現状の総括及び課題と問題点》

平成26年度、重視していた報・連・相が出来、他事業所、ケアマネージャーとの連携もとれ柔軟な支援が出来ました。利用者一人ひとりに合った誕生日プレゼントを贈ることが出来、皆さんに喜んで頂けました。

美作市内では高齢者世帯が増加し、介護者の高齢化にともない介護負担が増えた為、施設入所を希望される方も多く、利用者数が安定しにくい現状です。

美作市内の中では多くの有資格者を配置している事を生かし、質の高いサービスを提供することで、1日でも長く在宅生活が続けられるよう支援していくと共に、利用者・家族の支えとなり、よりよい人間関係築をいていけるよう努めます。

《サービス基本方針》

今持っている機能を維持し、少しでも長く在宅生活が続けられるように支援します。

《行動目標》

- ・ ご利用者の個人の理解を深め体調や気持ちの変化の早期発見に努めます。
- ・ キャラバンメイト養成講座に全員参加し、地域の会議等へ参加することにより、地域の方々に認知症を知って頂けるように努めます。

《数値目標》

実利用者数：53名

平成27年度事業計画

ゆうゆうの里ケアプランセンター

《現状の総括及び課題と問題点》

新規利用者の依頼は現状維持できていたが、長年担当していた利用者も重度化し在宅生活の限界にて入院、施設入所が多く利用者数の減少が見られました。在宅介護の限界の状態でサービス利用開始する為、介護予防、重度化予防は生かされていない事を痛感します。

主任介護支援専門員を配置していることを生かし、多職種との連携を図り、困難事例を積極的に受け入れ、限られたサービスを適切に且つ効率的に提供することにより、高齢者や支援者が安心した在宅生活が継続できるよう支援します。

《サービス基本方針》

- ・利用者が要介護状態になった場合においても可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことが出来るよう配慮する
- ・親切、丁寧、即対応により信頼のサービスを提供する
- ・関係機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める
- ・職員の資質の向上とメンタルヘルスカアを行う

《行動目標》

[地域で安心して暮らせるサポート体制の構築]

- ・認知症キャラバンメイト養生講座参加に参加する
- ・地域に出向き住民との信頼関係を築き現状把握する
- ・週1回ケアマネ会議を行い業務内容の確認、情報の共有を行う
- ・多職種連携の充実の為地域ケア会議に参加する

《数値目標》

介護保険居宅人数：100名

平成27年度事業計画

さつき園「地域密着型介護老人福祉施設生活介護」
「短期入所生活介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

さつき園の入居者がどのような状況になっても、できる限り自立した生活を送れるように生活機能の維持向上を図る必要があります。今年度取り組んだ「科学的介護」の実践は生活機能の維持向上を図る上で有効であることがわかりました。

ユニットケアの推進については8時間夜勤への変更と、食事（昼）の提供方法を改善することが出来ました。しかし、さつき園の施設理念である「自分らしい暮らしができる」を実践するうえでは課題が残りました。

また、次年度は介護報酬改定の年となります。厳しい報酬改定になっていきますので、人材の確保、定着をすすめながら、取得できる加算はすべて取得し、安定した経営につなげていく必要があります。

《サービス基本方針》

1. 自立支援に向けて、介護力向上研修に参加し、委員会活動を通じて「科学的介護」を実践していきます。またご入居者、ご利用者の自立支援や機能維持を目的に、口腔機能維持、摂食機能維持について他職種で知識を高め、協働して取り組みます。
2. 入居者、ご家族のニーズ実現のためにユニットでケアプラン、24Hシートにもとづいたケアを提供します。ご家族のニーズ把握に向けて意向確認（ターミナルケアを含む）や入居者の状態の情報共有、提供を行う場を持ちます。
3. 介護報酬改定の対応として記録の見直しと各種加算や報酬改定についてを学ぶ機会を持ち、各種加算を取得していきます。

《行動目標》

「さつき園を利用したい。」と思われる事業所を目指す。

～ADL、QOLの向上に積極的なケアを行う～

「ご家族との連携・信頼関係の構築を」

ご利用者によるご利用者のための食事サービス

～食事を通じて、ご利用者の自立支援、機能維持向上をめざします～

《数値目標》

さつき園入居稼働率 … 96%

さつき園ショートステイ稼働率 … 88%

平成27年度事業計画

幸輝園デイサービス「通所介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

要介護認定で介護度が軽くなる利用者が多くなり、同じ内容でサービス提供しても収入減になっています。また、医療依存度の高い利用者に対してのサービス提供が難しく、利用継続に繋がらないこともありました。

今後は、効率的なサービス提供や専門性の求められるサービス提供ができるように、職員の今以上のスキルアップと、来期の介護報酬改定に対応したサービス内容の見直し、変更が必要です。

《サービス基本方針》

- ・その人らしさを大切に個々にあったサービスに努めます。
- ・プログラムを充実させ満足感を高めます。
- ・専門性の高いプログラムを提供し、利用者の状態の安定を図り、在宅生活継続に努めます。
- ・チームワークを優先し、自分の役割とチームプレーを徹底します。
- ・接遇マナー向上させ安定したサービスを提供します。
- ・地域交流を深め、地域の方から信頼されるように努めます。

《行動目標》

個々の専門的スキルを高め、求められるデイサービスを目指す。

《数値目標》

サービス利用率 70%

平成27年度事業計画

かたらい「小規模多機能居宅介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 『ご利用者の心を読み取ろう。一人一人のできる力に寄り添いながら』を全体の行動目標に「その人が求めている」ニーズに応えながら、自立支援に向けて取り組んでいきました。少しがんばればできる目標をご利用者とともに考え「できた」の喜びを一緒に共感することで生活する力を維持できればと考えています。
- ・ ご利用者が元気に笑い声を上げられ「今日は楽しかった」「また来るからなあ」「ここに来とんが一番ええ」との声でご家族が安心され、職員も元気をもらい、助け合いながら笑顔になり、笑い声が絶えない事業所になりつつあります。
- ・ 「住み慣れた地域での生活が継続できるよう、ご利用者、ご家族、地域住民、地域包括支援センター、主治医との連携を図りながら地域で暮らすご利用者様が、いつまでも地域住民としての役割をもち、今までの生活や仲間、趣味、地域での活動を絶やさない暮らしをサポートしていこうと思います。

《サービス基本方針》

- ・ 一人ひとりの個別性を大切にし、「その人が求めている」ニーズに応えられるよう、状況や要望に応じたサービスに努めます。
- ・ 個々の地域活動を把握し、サロンや老人会への参加、町内活動、個別の趣味の教室など今まで付き合いしてきた関係を閉ざさないように支援いたします。
- ・ 事業所として地域資源との関わりを密にできるように、民生委員や町内会を中心に地域との関わり方を今まで以上に大切にします。

《行動目標》

『プラス^{ワン}1の思いやりで心の通じ合う1日を』

～つねにご利用様のかたわらに～

《数値目標》

登録利用者率 86%（平均登録人数25名） 登録定員29名

平成27年度事業計画

幸輝園ケアプランセンター「居宅介護支援」

《現状の総括及び課題と問題点》

利用者の施設入所、死亡が多く、目標にしていた利用者確保には至っていません。反面、介護予防へ移行となる利用者が急増しており予防給付での委託分が増えている現状です。今後は来期の介護報酬改定に対応するとともに質の高い介護サービスを目指し「在宅介護重視」の介護保険の基本理念を実現するため、限られたサービスを適切で効率的に利用し、高齢者や支援者が安心して自立した在宅サービスが継続できるよう支援していく必要があります。

《サービス基本方針》

- ・課題整理総括表やモニタリング機能の強化のための評価表を活用し自立支援型のケアプランを作成します。
- ・サービス担当者会議に医療職の参加を推進し多職種共働の会議を実施します。
- ・地域ネットワーク構築のために地域、医療機関等の関係機関が行う会合、研修及び医療職との連携を強化のため病院でのカンファレンス等に積極的に参加していきます。

《行動目標》

「豊かな在宅生活の実現」

介護が必要な状態になっても住み慣れた自宅で最後まで過ごせるよう、様々な社会資源を活用し在宅生活をサポートしていきます。

《数値目標》

- ・要介護 ケアプラン作成件数 132件 月平均
- ・要支援 ケアプラン作成件数 40件 月平均

平成27年度事業計画

かがやき「ケアハウス」

《現状の総括及び課題と問題点》

入居者の多くが「かがやき」を、安住の場・家と考えており安心して快適な生活が継続されることを望まれています。しかし年齢を重ねていくうちに、身体、精神状況が悪化し様々な不安を抱えています。

そのような入居者の不安を解消し、「かがやき」での生活を維持継続するために、どのような支援を提供すべきかを考え、ご家族、医療職等の他職種とも連携した支援が今後は必要になります。

《サービス基本方針》

- ・ 認知症の入居者へ実施している学習、回想療法などにより、認知症予防に取り組みます。
- ・ 入居者へ筋力低下を予防しADLが維持できるような介護予防運動に取り組みます。
- ・ 地域活動に入居者とともに積極的に参加します。

《行動目標》

「コミュニケーションを重視した支援を目指します!」
～心にやすらぎを～

《数値目標》

- ・ 定員29名を維持する。(月初在籍率100%)
- ・ 足浴・回想法・介護予防運動等リハビリ療法への参加を維持する。(70%)